

いんくみ 広島

VOL. 425
令和4年1月

新年特別号

発行/広島県印刷工業組合 発行人/中本 俊之
広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954
URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



年頭所感

広島県印刷工業組合 理事長 中本 俊之
全日本印刷工業組合連合会 会長 滝澤 光正

年男新春エッセイ

株式会社ユニックス 宇都宮 五郎
株式会社中本本店 中本 俊之
アート印刷株式会社 細川 俊介
中国新聞印刷株式会社 矢野 透
株式会社中本本店 東 義則
株式会社インパルスコーポレーション 赤木 智治
株式会社ニシキプリント 清水 修平

第3回拡大理事会開催

2023 全日本印刷文化典 広島大会について

福山支部だより

事務局だより ●組合のうごき

『草戸稲荷神社』(福山市)～広島県で初詣客が2番目に多い～

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

今年も「いんさつ広島」編集員一同、皆さまに身近な情報等をお伝えできるよう頑張りますので、どうかよろしく願いたします。

写真は、今年も初詣客でにぎわう福山市の「草戸稲荷神社」です。

平安時代の807年(大同2年)に明王院を開基したとされる空海上人が同寺の鎮守として祀ったのが最初とされ、当初は社殿が芦田川の中州に鎮座していましたが、度々の洪水により流失。1633年(寛永10年)6月に初代備後福山藩主の水野勝成が現在地に再建したとされています。

現在、コロナが少し治まっております。福山駅より車で10分足らずですので、皆さまも一度初詣に行かれてみてはいかがでしょうか。

新年のご挨拶

— 2022年テーマ —

印刷のチカラで、新しい日常に彩りを

広島県印刷工業組合

理事長 中本 俊之



謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は組合運営に格別のご支援とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。本年も昨年同様ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

わが国の経済は2年続く新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により大きく落ち込みながら、持ち直しの動きも見られるようになっていました。ところが昨年秋頃から新たな変異株の情報が入り、不安を拭いきれない状況となっています。この2年間で試行錯誤を通じて得た経験を生かし、3年目に入るコロナ禍にも、人々が安心して暮らせる環境が整うことを願ってやみません。

この状況下がもたらしたマイナス面はいうまでもなく数多くありますが、だからこそ見えてきた新しい価値や発見も、少なくなかったのではないのでしょうか。

われわれの業界においても、これまで得意としてきた対面での営業活動が激減してしまいましたが、思うように会えないからこそ、人とつながることの大切さをあらためて実感し、つながる喜びを再認識できたというのも、貴重な発見の一つだと思います。「直接会わなければならない」と思っていたことも「直接会わなくてもできる方法」を模索することで、さまざまなつながり方を知ることができたとも言えます。

ほかにも、制限が多い中でできることを懸命に思考することで生まれた、もしくは進化した商品やサービスもあります。こういった体験は、逆境でこそ発揮される底力を引き出し、苦しくても思考を止めず考え抜くことで、困難な中にも道は開けるという希望にもつながったように思います。否が応でも変わらざるを得ない状況に迫られたことによって、これまでさまざまな事情で止まっていた重要事項が動き出したという変化があったかもしれません。きっかけはどうあれ、一歩踏み出すことができたという点では、前向きに成果と捉えてもいいのではないのでしょうか。

さらに、教育、働き方や雇用、経済などさまざまな面からSDGsへの関心も高まりました。今後もデジタル化は進み、紙の印刷物とデジタルメディアの組み合わせや使い分けも必要となるでしょう。印刷業界も大きく関わるSDGs目標12「つくる責任・つかう責任」の達成に向け、顧客や消費者に対しSDGsに即した行動を促すよう提案することも、われわれの責務であると考えます。

停滞していたように思えるこの2年の間にも、われわれは少しずつ前に進んでいたのではないかと思います。そんな今われわれに必要なのは、コロナ禍以前の暮らしを「取り戻す」だけでなく、以前より「一歩でも前へ進む」ために、これまで同様、限られた中でも今できることを精一杯考え続け、自らの強みを見つけ、磨き、向上することをあきらめない強い気持ちではないのでしょうか。

昨年10月に開催予定だった「全日本印刷文化典」長野大会は残念ながら中止となってしまいましたが、次なる広島大会は、夢メッセと合わせて来年2023年10月に開催予定です。2年連続中止となった「印刷産業夢メッセ」は今年10月に16回目を開催する予定です。先が見えにくい世の中ではありますが、そんな中にも印刷の可能性を感じ未来へのヒントが見つかる有意義な体験をお届けできるよう、実行委員一同、精一杯努めてまいります。

このように、先にはいろいろな楽しみが待っています。2022年が皆さまにとって良い年となりますよう祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

全日本印刷工業組合連合会
会長 滝澤 光正



あけましておめでとうございます。

旧年中は当連合会に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの終息が見通せない中、当連合会でも、予定していた全日本印刷文化典長野大会の中止やCSRサミットの延期、各種会議・セミナーのリモート運営など、一昨年に引き続き難しい組合運営を強いられました。秋以降はワクチン接種が進み、感染者が減少し緊急事態宣言が解除されるなど、わずかながら明るい兆しが見えましたが、その一方で、原材料コストや物流費の上昇を理由として、印刷用紙をはじめとする印刷関連諸資材の価格改定が相次いで発表されるなど、中小印刷業界のみならず産業界全体において今しばらくは厳しい環境への対応を求められる年となりました。

このような状況の中、全印工連では生産性向上と高付加価値化を目指すDX事業について、組合員同士の生産連携をはかるためのDXプラットフォームシステム「DX-PLAT」の全国9地区におけるトライアルの実施、本格稼働に向けた具体的な制度設計の取り組み、各メーカーデバイスとのインターフェイス構築、システム改修とファシリティの整備など、着実な歩みを進めました。また、国際公約となった2050年カーボンニュートラルへ向けて、印刷産業全体のイメージアップを図り、併せて組合員各社の経営改善に資することを目的とする再生可能エネルギー事業への取り組みを決定するなど、新しい事業にも着手しました。このほか、幸せな働き方改革事業、環境労務対策、各種共済制度の加入促進、動画教育サイト「印カレ～全印工連の学んで得するTV～」の運営、CSR普及活動、官公需対策、事業承継支援など、共通の経営課題解決に努めてまいりました。

日々目まぐるしく変化する経営環境のもとではありますが、全印工連では今が好機と捉え、これまでの枠を超えたさまざまな角度と視点から新しいネットワークの構築と価値の創造を目指して諸事業を進めてまいります。しなやかで、そして力強い全印工連であり続けるために、本年も各都道府県印刷工業組合ならびに全国の組合員企業の皆様のご理解とお力添えを心よりお願い申し上げます。

本年が皆さまにとって明るい希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



年男新春エッセイ



新春放談

株式会社ユニックス

取締役 宇都宮 五郎

(昭和 13 年生)



昭和 13 年 (西暦 1938 年) 生まれ、今年の誕生日で 84 歳になります。

先代：宇都宮卓蔵の後を継ぎ、ユニックス呉、ユニックス広島、セイコービジネスの経営に携わり、いずれの会社も息子の公德に引き継ぐことができ、現在に至っております。組合の皆様には、大変お世話になりました。副理事長の役職までさせて頂き、貴重な経験と多くのお仲間とのご縁を頂き、本当に感謝しております。

まず、自己紹介をさせていただきます。

昭和 13 年 5 月に呉市広長浜にて宇都宮家の 10 番目 (男子 5 人、女子 5 人) の子供として生を受けました。当時、宇都宮家は小売業を営んでいたそうです。戦時中ということもあり商売がうまくいかず、西条の遠戚にあたる石井印刷所のご助言もあり、印刷業を始めたと聞いております。

東畑中を卒業後、広高等学校、早稲田大学を卒業後、東洋工業㈱に入社いたしました。技術畑で運よくアメリカ・デトロイトに 5 年間滞在、仕事をすることができました。日本に戻って 1 年半ほどして、2 代目社長であり次男の卓蔵 (子供に恵まれず、後の事ですが養子縁組をしました。) から仕事を手伝って欲しいと頼まれ、マツダで社長になることを夢みていたのですが、家業の印刷会社を手伝うこととなりました。当初は、宇都宮印刷工業㈱、広島美研印刷㈱に勤め、色々と経験を積んだ後、セイコービジネス㈱を任せられました。後で分かったことですが、協力して頂いていた、主に呉の印刷会社の社長様方に色々と不義理な事をしていたようです。

時代の流れも味方してくれ、順調に業績を伸ばし、郷原に大きな工場を造ることができました。1979 年から 2013 年まで約 34 年間社長を務め、私の分身の様に感じております。土日も仕事があり、工場に出れば、機械を廻してくれている社員に声をかけたり、一緒に機械を廻したりで、現在もその癖がぬげず、時間があれば、会社に顔をのぞかせております。

組合活動や、業界の皆様のお蔭で色々な人と交流を持つことができました。最近では、知人の訃報を耳にすることが多く、少し寂しい思いです。

2004 年に前立腺がんの手術をし、2011 年に甲状腺がんの手術を受けました。その後も定期的に病院に通っておりますが、再発はしておりません。2016 年定期検査の際、心筋梗塞を発症していたことが分かり、すぐに治療を開始しましたが、その時は「死」を覚悟しました。何とか助かりました。その後、ゴルフをしたいと病院の先生に話を持っていった時、死んでも良いならと脅かされ、ゴルフをやめることとなりました。

昨年 5 月に義母：可代子 (卓蔵の奥方様) が亡くなりました。また、妻の玲子が、間質性肺炎を患い 2 カ月の入院、その後も酸素吸入器を付けたまま自宅での療養となり、慌ただしい毎日を過ごしております。

趣味は、相変わらずで「書道」、「吟詠」、「カラオケ」、「写真」を楽しんでおります。

「書道」は、過去にも執筆しましたが、広島信用金庫の呉支店にて個展を 10 数回開催させて頂きました。母校：県立広高等学校の玄関に書も飾って頂きました。書道吟「海南行」を披露させて頂いたことも、心に残っております。現在は、セイコービジネスの応接室に飾っております。

毎年の年賀状の一字書きは 27 年間続けることができました。師範の称号も頂きました。

「カラオケ」は、DAM 精密採点で 2018 年に記録した 98.873 が最高ですが、現在は 90 点しかでず、衰えを感じております。山口県大島で開催されましたカラオケ大会にも何度か挑戦させて頂きましたが、歌手デビューには至りませんでした。

「写真」は、兄：卓蔵の影響で始めたのですが、旅先での思い出が増えました。現在セイコービジネスの応接や食堂に飾っております。ヨーロッパへ旅行させて頂いた時に撮った街中の人の写真が一番のお気に入りです。

現在も、趣味は続けておりますが、年ごとに思うようにいかない事が増えていることを実感しておりますが、まだまだ長生きできそうなので、妻と仲良く余生を楽しみたいと思っております。

年男新春エッセイ



何事にも「虎イ！」

株式会社中本本店

代表取締役 中本 俊之

(昭和37年生)



明けましておめでとうございます。旧年中はたいへんお世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて本年5回目の干支を迎え、還暦の年を迎えることとなりました。節目となる2回目の年男は1986年(昭和61年)ですが、大阪の製版会社におりました。当時はアナログの全盛期でしたが、電子化も始まり画像処理や集版システムのCEPSが出始めたのがこの頃でした。完全個室で機器のための温度湿度管理がなされており、寒くて震えながらオペレートしておりました。3回目の年男は1998年(平成10年)です。父の体調不良もあり、若返りを図る一環としてこの年の12月に4代目の社長に就任しました。平成10年という年は失われた10年という平成不況の真ただ中にあり、自分にとっても厳しい年での船出となりました。4回目の年男は2010年(平成22年)です。会社創業90周年を昨年12月に迎え、社員一丸となって創業100周年に向かってスタートした年でした。創業100周年は2019年(令和元年)に迎えることができました。記念事業として「100年のチカラ展」を開催しました。これは弊社の歴史から現在の姿、今私たちにできること、今取り組んでいることなどを中心に紹介する企画展です。取引先さまや地域の皆さまなど社外の方々に広く知っていただくためのもので、そこから印刷の魅力や未来を感じていただくための取り組みでした。そして今年2022年(令和4年)還暦を迎えます。昨年は新型コロナウイルスで我慢の年でしたが、今年は仕事も趣味も何にでも「虎イ！」する年にしたいと思います。趣味は釣り、ゴルフ、沖縄の弦楽器三線(さんしん)です。釣りの楽しさを教えてくれたのは父ですが、創業者である祖父も釣りが大好きで釣り船を持っていたそうです。釣り歴は50年以上になります。小学校1年生の時から山口県大島の遊漁船に乗せられており、早朝目を覚ますと大島の釣り宿にいたということがよくありました。その頃は今と違ってよく釣れていたこともあり、また子供のことですから怖いもの知らずで、仕掛けを根掛かりさせてだめにしようが一向におかまいなしで、そのおかげで大物を釣り上げて周りの大人をびっくりさせたものです。いつも決まった船頭の船に乗り旬の魚を釣ります。その船頭とは30年以上の付き合いをしておりま

した。父は船に乗ってもほとんど酒を飲んで寝ており、まともに釣りを教わった記憶はないのですが、1度決めたら船(船頭)を替えない、予約した日は何があろうとキャンセルをしないなど、人との付き合い方を教わったように思います。現在はホームグラウンドを山口県上関町に移し、これまた決まった船頭の船に乗り、いま25年の付き合いをさせてもらっています。上関の釣りはいかりを船の前後2本打って固定し、ふかせ釣りと呼ばれ小さな錘で仕掛けを潮にのせて釣ります。釣りの魅力はなんとと言っても季節を感じる事ができます。旬のものを食べることで、自然のめぐみや四季の変化も感じる事ができます。しかし、残念なことに最近温暖化で海もすっかり変わってしまい、旬を感じる事が少なくなりました。しかし、これからも人とのご縁をより大切にして、周りの環境にも目配り気配りをして楽しい釣りができればと思います。

これからは60歳という年を自覚して、健康に気をつけながら、仕事も趣味ももっと幅を持ち、臨機応変に動けるよう精進してまいります。これからもご指導のほどよろしくお願いいたします。今年が組合員の皆さまにとって実りある一年になりますようにお祈り申し上げて年男のご挨拶とさせていただきます。



年男新春エッセイ



還暦を迎えて「将来の夢」

アート印刷株式会社

代表取締役 細川 俊介

(昭和37年生)



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

寅年の本年、自分が60歳の還暦を迎える年になった、との実感はまったくありませんが、良い機会を頂いたと思い、わが人生を振り返ってみることで「夢」を語りたいと思います。

子どもの頃は、友だちと外で遊ぶことがすべてで真っ黒に日焼けしていました。小学校はソフトボールに出会い、中学校は野球部でした。高校ではバンドを組んでドラムに燃えていました。マッドマックスという映画が流行り、バイクでターンの練習をしていました。

大学ではパチンコにハマリ、大阪でパチンコ屋さんのバイトをしていました。システム販売にのめりこんだのもこの時期です。中途半端な自分を猛反省し、JPA(日本プリンティングアカデミー)では、人生で最も良く学びました。

昭和63(1988)年、アート印刷株式会社に入社し、営業として飛び跳ねていました。しがらみが無い内にどこへでも行こう、と飛び込み営業を年間500社と目標を定め実行しました。広島のハローデンイン様の黒飛部長のもとへ2週間研修に通わせていただいたのも良い経験でした。

「なぜ社名をアート印刷としたのか」親父に聞いたことがあります。父は農家の長男でしたが、農業への関心は薄く、自転車で1時間以上かけて福山市役所で仕事をしていました。そこへ印刷会社の社長がよく来ら

れていて、見染められて印刷業に入ったそうです。その会社で10年ほど営業をし、その頃開拓したお客さんに印刷のカラー化の要望を強く受け、何とか答えたいと、独立を決意したみたいです。当初から準備をしていた訳ではなかったためお金がなく、当時のお客さま11名から出資をしてもらい会社を作ったので、個人名の社名は付けにくかったと聞いています。そこでネット検索と同じ意味合いの当時の電話帳で一番最初に載るアートというアイデアが出たそうです。それに「Art is long. Life is Short」人生は短くはかないが、アートは永遠だ。という格言に出会い「これだ」と決めたいです。

私は「社名の通りの会社になりたい」と目標を定め、美術印刷の実績を積んでいきました。関東地区への足掛かりが少しずつ増えていき、お客様がお客様を呼んでくださり現在に至っています。

弊社も設立して60年が過ぎ、会社としても還暦を超えました。次の世代にバトンタッチするゾーンに入っています。社員の一人に狙いを定め、外堀をコンクリートで埋めている最中です。

いよいよ将来の夢に突入です。100年企業に向けて進化を遂げていかなば、と思います。農業で言うところの六次化的なシステムを構築することが夢です。お客様から受注しスタートする仕事と、自ら創り出す仕事の両輪です。そんな夢を描きながら、今日に感謝の日々です。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

刷版・フィルム出力可能な
処理液・廃液⁰の
パーフェクトプロセスレスCTP



Thermal
Digiplate
TDP-459II / 324II

ダイヤミック株式会社

広島営業所 広島市中区白島中町13-13 ☎082-224-2052

省力化に **Toho** の周辺機器

東邦精機株式会社

広島営業所

〒733-0006 広島市西区三篠北町11-24

TEL (082) 238-3300

FAX (082) 230-1534

年男新春エッセイ



これからも平凡上々

中国新聞印刷株式会社

営業部次長 矢野 透

(昭和37年生)



新年あけましておめでとうございます。

いつも皆さまにはお世話になりありがとうございます。

寅年の今年いわゆる還暦を迎え、定年を迎える年齢になりました。

そんな折、急に「いんさつ広島」の新春放談の執筆依頼を受け、戸惑いながら12年ごとに自分の人生を振り返ってみました。

私が生まれた昭和37年(1962:壬寅)の出来事をひもとくと、東京の人口が1千万人、テレビの受信契約が1千万件を超え、広島テレビ放送さんが開局されています。経済も高度経済成長期に突入して活況を呈していたと聞いています。小学2年生の時に旧広島市内から田んぼが広がる佐東町緑井に移住しました。その当時は旧市内とその近郊で話し言葉に若干の違いがあり、転校した当初自分の居場所がなく、何とか自分の居場所を確保できたころには、一人称が「ボク」から「ワシ」に変わって、ネイティブな広島弁を話せるようになっていました。

昭和49年(1974:甲寅)、小学6年生ごろに覚えているフレーズに「狂乱物価」という言葉があります。オイルショックによる物価の異常上昇が発生、デマ情報(フェイクニュース)によってトイレトペーパーの買だめに走る人々をニュース映像で見ました。そして昭和50年の「広島東洋カープ リーグ初優勝!」は、やはり自分の人生から外すことのできない出来事です。往時の広島の街の雰囲気は尋常ではなかったと思います。それは中学校の先生が、教壇の上に「ドン!」と携帯ラジオを置いて「今日の授業はコレだ!」と…、それからは流れるカープ中継で、みんなが一喜一憂したことを記憶しているからです。

昭和61年(1986:丙寅)には、新聞の印刷に携わっていました。その頃、新聞印刷にカラー化の波が押し寄せてきていました。また、商業印刷では自動写植機やポジフィルムなどを使っていました。まだイラストレーターやフォトショップなどが普及していない時代でした。ちょうどアナログからデジタルへの切り替わる時期だったのだと思います。経済的にはバブル景気が始まったころにあたり、「写ルンです」やファミリーコンピュータの「ドラゴンクエスト」が発売された年

です。

平成10年(1998:戊寅)は、経理に異動していました。そのころ女子高生を中心に、はやったものに「写ルンです」があり、12年越しのロングセラー商品で、最近また昭和レトロとして流行しているようです。また連絡ツールの「ポケベル」(ポケットベル)は最後の流行と言われ、徐々にPHS(簡易型携帯電話)や携帯電話に移行していき、今ではスマートホンが主流となっています。経済では、バブル景気の崩壊によって、巨額の不良債権を抱えた日本長期信用銀行や北海道拓殖銀行など、それまで優良と考えられてきた銀行や大手企業の破綻が相次いだことに、強い衝撃を受けました。

平成22年(2010:庚寅)は、営業へ異動して3年目。入社から23年間の内勤からの異動と若干人見知りのところがあって、対人関係の多い営業業務に、ストレスを感じつつも勤しみ、頭髪の白髪化が一気に進んだことを覚えています。営業では失敗もあり成功もありでしたが、最終的には、お客さまに喜ばれたことが何よりの慰めであったと思います。

令和4年、再び巡ってきた壬寅のこの年、私は定年を迎えますが、わが社は昨年、中国新聞広島制作センターと合併して、中国新聞印刷株式会社となり、新たな歩みを始めました。これから先も変動を乗り越え、改革をし、発展を続けるものと思っています。

さて、昔は人生50年と言われていましたが、今では80年から100年と言われるようになってきました。わが子も独立をして、これからは色々思ったことができるようになるかな? と思っていましたが、親の生活支援も視野に入ってきました。

おりにふれ私は「平凡に勝るものなし」と生きてきたつもりですが、なかなか平凡に生きるのにも、思ったより力や知恵があるものだなあと思うこの頃です。私のつたない文に、長々とお付き合いいただきありがとうございました。

最後に、新型コロナ感染による経済の沈滞から抜け出して、徐々にでも平々凡々とした日常へ戻れることを祈念しつつ、皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

多謝

あけましておめでとうございます

令和4年元旦

<p>アート印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 細川 俊介</p> <p>福山市南本庄1丁目10-38 〒720-0077 電話(084)924-5588</p>	<p>株式会社 アドプレックス</p> <p>取締役社長 隅川 通治</p> <p>広島市中区舟入南1丁目1-18 〒730-0847 電話(082)232-4286</p>	<p>株式会社 石井印刷所</p> <p>代表取締役社長 石井 千之明 専務取締役 原田 明</p> <p>東広島市西条岡町9-17 〒739-0016 電話(082)423-2173</p>
<p>イチカワ印刷株式会社</p> <p>代表取締役 市川 哲也</p> <p>府中市元町422-2 〒726-0003 電話(0847)45-4358</p>	<p>今谷印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 蔵田 和雄</p> <p>東広島市西条町寺家6608 〒739-0041 電話(082)422-2714</p>	<p>株式会社 インパルスコーポレーション</p> <p>代表取締役社長 後藤 智治</p> <p>広島市安佐南区相田1丁目16-27 〒731-0141 電話(082)878-6000</p>
<p>大東印刷株式会社</p> <p>代表取締役 大東 弘典</p> <p>三原市皆実4丁目5-30 〒723-0052 電話(0848)62-3389</p>	<p>有限会社 加計印刷</p> <p>取締役社長 大倉 啓司</p> <p>山県郡安芸太田町大字加計3444-1 〒731-3501 電話(0826)22-0568</p>	<p>金正印刷株式会社</p> <p>代表取締役 薬師寺 尚志</p> <p>広島市南区段原南1丁目27-7 〒732-0814 電話(082)253-3301</p>
<p>株式会社 原色美術印刷社</p> <p>代表取締役社長 田尾 直也</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-48 〒733-0833 電話(082)277-3030</p>	<p>佐々木印刷株式会社</p> <p>代表取締役 佐々木 孝朗</p> <p>三次市東酒屋町306-55 〒728-0023 電話(0824)62-3539</p>	<p>瀬戸内海印刷株式会社</p> <p>社長 大田 恒三</p> <p>広島市佐伯区石内北5丁目1-8 〒731-5109 電話(082)554-5500</p>
<p>株式会社 Taisei</p> <p>代表取締役 吉岡 ゆかり</p> <p>本社 広島市安佐南区祇園3丁目24-17 〒731-0138 電話(082)875-3232 東京営業所 東京都千代田区霞ヶ関1-4-1 日土地ビル2F 〒100-0013</p>	<p>中国新聞印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 山根 徹三</p> <p>廿日市市大野387番地3 〒739-0422 電話(0829)50-2838</p>	<p>当田印刷株式会社</p> <p>代表取締役 当田 信幸</p> <p>呉市阿賀南2丁目9-47 〒737-0004 電話(0823)71-7762</p>
<p>有限会社 トータルワーク</p> <p>代表取締役 大道 綾彦</p> <p>広島市西区中広町2丁目24-5 サンコーボ中広205 〒733-0012 電話(082)234-2133</p>	<p>中川印刷株式会社</p> <p>会長 中川 仁 代表取締役社長 中川 隆</p> <p>広島市西区横川町2丁目8-5 〒733-0011 電話(082)291-3841</p>	<p>株式会社 中本本店</p> <p>代表取締役 中本 俊之</p> <p>広島市中区東白鳥町13-15 〒730-0004 電話(082)221-9181</p>
<p>株式会社 ニシキプリント</p> <p>代表取締役 宮崎 真</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-33 〒733-0833 電話(082)277-6954</p>	<p>株式会社 沼田総合印刷</p> <p>代表取締役 丸林 智行</p> <p>広島市安佐南区沼田町阿戸657-1 〒731-3271 電話(082)839-2500</p>	<p>有限会社 花田印刷所</p> <p>代表取締役 花田 一弘</p> <p>広島市中区光南6丁目2-6 〒730-0825 電話(082)243-2062</p>
<p>有限会社 広島入力情報処理センター</p> <p>代表取締役 玉野 佳子</p> <p>広島市東区矢賀新町1丁目6-14 〒732-0044 電話(082)510-1511</p>	<p>株式会社 広瀬印刷</p> <p>代表取締役 瀬尾 淳</p> <p>広島市西区中広町 3-3-12 〒733-0012 電話(082)232-2238</p>	<p>福山エビス印刷株式会社</p> <p>代表取締役 小田 芳正</p> <p>福山市東川口町1丁目5-5 〒720-0821 電話(084)954-2200</p>

あけましておめでとうございます

令和4年元旦

松本印刷株式会社 代表取締役 松本仁志 廿日市市下の浜 5-12 〒739-0433 電話(0829)55-2290	明生印刷有限会社 代表取締役 青木博 広島市中区舟入川口町18-19 〒730-0845 電話(082)231-9778	モンデン化成株式会社 代表取締役 田頭正芳 福山市神辺町道上2891-1 〒720-2104 電話(084)960-0345
株式会社 ユニックス 代表取締役社長 宇都宮公德	株式会社 ユニバーサルポスト 代表取締役社長 喜瀬清 広島市西区商工センター7丁目5-52 〒733-0833 電話(082)277-5588	株式会社 呉精版印刷 代表取締役社長 高山順子 呉市築地町5-4 〒737-0822 電話(0823)22-5011
株式会社 三丸シール印刷 代表取締役 須寄竜二 広島市中区舟入川口町2-35 〒730-0845 電話(082)232-5469	三和総合印刷株式会社 代表取締役 近江弘至 福山市曙町6丁目1-11 〒721-0952 電話(084)953-1969	重田印刷株式会社 代表取締役 重田耕作 府中市本山町10530-229 〒726-0001 電話(0847)41-2226
至誠堂印刷株式会社 代表取締役 國光俊博 広島市中区猫屋町8-26 〒730-0852 電話(082)232-6111	有限会社 新洋社印刷所 代表取締役 島田星平 広島市西区観音町4-14 〒733-0031 電話(082)232-3348	セイコービジネス株式会社 代表取締役社長 宇都宮公德 呉市郷原町4010-11 桑畑工業団地 〒737-0161 電話(0823)77-1122
第一美術印刷株式会社 代表取締役 小下博史 広島市西区中広町1-19-10 〒733-0012 電話(082)231-8165	有限会社 泰平紙業 代表取締役 角野壽男 広島市西区商工センター7丁目5-29 〒733-0833 電話(082)277-4301	東光印刷株式会社 代表取締役社長 小倉裕巳 広島市西区商工センター7丁目5-15 〒733-0833 電話(082)501-0780
広島印刷株式会社 代表取締役 齋藤正成 広島市西区商工センター7丁目5-4 〒733-0833 電話(082)277-6050	広島中央印刷株式会社 代表取締役社長 田村治重 広島市中区国泰寺町1丁目5-18 〒730-0042 電話(082)241-9291	株式会社 ひろみ 代表取締役 増原智子 広島市安佐南区長束5丁目5-10 〒731-0135 電話(082)237-1687
二葉印刷有限会社 代表取締役社長 佐藤大悟 本社 福山市霞町3丁目4-26 〒720-0812 電話(084)922-4785 工場 福山市山手町5丁目29-19 〒720-0092 電話(084)951-2124	株式会社 文化社 代表取締役 重本正樹 広島市西区商工センター7丁目5-56 〒733-0833 電話(082)277-2661	株式会社 ポップジャパン 代表取締役 熊本卓司 広島市安佐南区伴南2-5-19-26 〒731-3168 電話(082)811-8500
まつぎ印刷株式会社 代表取締役社長 松崎友之 福山市神辺町西中条1333-6 〒720-2103 電話(084)960-0800	レタープレス株式会社 代表取締役 増田達朗 広島市安佐北区上深川町809番地の5 〒739-1752 電話(082)844-7500	謹賀新年 本年もよろしくお願ひいたします 令和4年 元旦 広島県印刷工業組合 事務局

年男新春エッセイ



60歳を迎えるにあたり

株式会社中本本店

管理課課長 東 義則
(昭和37年生)

新年あけましておめでとうございます。

年末年始は、ゆっくり心と体を休め、リフレッシュすることができましたでしょうか。私自身は家族と共に新年を過ごし、改めてつながりの大切さを再認識することが出来ました。

昨年は、コロナ禍の中で印刷業界は、市場での一層の紙離れが加速し、業界を取り巻く環境は厳しく予断を許さない状況が続いていました。今年は創意工夫でこの困難を乗り切ることが出来る一年となればと思います。

そのような状況の中で、昨年は一年遅れで東京オリンピックが開催されるなど明るいニュースもありました。この期間だけは、生活の中で規制も多く不安で沈みがちな気持ちを一気に高揚させてくれたと思います。スポーツの持つ力はやはり偉大ですね。今年はぜひ満員のマツダスタジアムで優勝試合を観戦ができればと思います。

さて、私は、昭和37年(1962)生まれで、今年60歳の還暦を迎えます。私の60年を振り返ると、職場での経験や人との出会い、家族との繋がりがあって今の自分があると実感しています。

職場での最初の仕事は、写植を担当させていただきました。若い人にとっては写植とは? かも知れませんが、『写植』とは写真植字の略語です。簡単に説明すると、ガラスに印刷してある文字盤に対し、原稿を読み取りながら選択した文字の位置でシャッターを切って印画紙に文字を焼き付け現像して版下作成へ送るまでの作業です。今では考えられませんが、書体やポイントや字詰を間違えたり変更が加わると、もう一度最初からやり直すこととなりとんでもない労力が掛かる作業でした。当時は他のオペレーターとどれだけ間違えの無い印画紙を仕上げるか競争しながら文字を打ち込んでいました(ただ美人の校正者に褒めてもらうためです)。

そののち電算写植の登場によって写植から解放され、自由自在に修正作業が出来る環境になりました。

写植で身についた間違えの少ない校正紙を次工程に送るという大昔の基本が今でも自分のなかで生きてお

り、時代が変わり業態も大きく変わったとしても通じるものだと信じて現在に至ります。

そして、私生活ではやはり家族の存在はありがたいと感じています。その中でも今の自分があるのは父から受けた影響は大きいと思います。

父は昭和8年生まれで小学生卒業の時に終戦となり、その後、田舎から広島に出てきて苦勞をして私たちを家族を支えてくれました。以前、父の卒業した小学校の100年の周年誌が発刊され、それぞれの卒業年次の集合写真が載っておりました。父の年の集合写真は、どの年の写真より埃っぽい制服で元気のない表情で映っていました。その時代はそれが当たり前だったから辛くはなかったといっはおりましたが、大変な時代を苦勞して生きてきたのだと思いました。口数の少ない父からは、物を大切に、出された食事は残さない、人には優しくするなど言葉では言われたことはなかったと思いますが、今思えば父を見て自然にそれを教わっていたように思います。

父にはどんなに努力をしても追いつけるような気はしませんが、自身が家庭を持ち子の親となり成長した子どもたちと接する今、私も子に対し背中では何かを伝えることもできる親に成長せねばと思う今日この頃であります。

今年の干支は「壬寅」になりますが、『「壬」とは「妊に通じ、陽気を下に妊(はら)む』、「寅」は「蟻(ミミズ)に通じ、春の草木が生ずる」という意味があります。これらを合わせ考えると、陰陽五行説から見た2022年の干支「壬寅」は、『陽気を孕み、春の胎動を助く』、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれることを表している』とされています。今年は2019年より続くコロナ禍が落ち着き、社会全体が成長し飛躍する年になるとも言えそうです。

最後になりましたが、皆様にとってより良い一年となりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

年男新春エッセイ



日々挑戦

株式会社インパルスコーポレーション

取締役工場長 赤木 智治
(昭和49年生)



新年あけましておめでとうございます。

コロナウイルスの影響で世界的に大変な世の中ですが無事に新年を迎えることができとても嬉しく思います。

年男ということでこのエッセイを書くことになりましたが、こういったことが苦手な私としては、かなり戸惑っています。

2022年は寅年。4回目の年男を迎えて今年48歳になります。自分としてはまだまだ若いと思っていますが、近頃は体がついていけないことが多々あるようになってきました。

私がインパルスコーポレーションに入社してもう四半世紀になります。(当時はインパルス広島) 当時は従業員数30人ぐらいの会社でした。入社時に製本に配属されたのですが、最初は3人しかいませんでした。他の部署の人の協力を得ながら仕上げ、製本加工、梱包、発送などをしていました。そして確か25歳の頃、製本の責任者をまかされるようになってからは、苦勞の連続でした。年上の人への指示、他の部署との連携と今思えば大変貴重な経験だったと思います。その頃会社も成長している時期で、印刷設備の増設、従業員の増加、デジタル技術の発展とめまぐるしく環境が変わっていたように思えます。製本設備も、この機械を入れればこんな仕事ができる、こういった要望に対応できるなどと進歩してきました。

今現在でも、主に製本に携わっているのですが入社当時と比べると機械設備、生産能力が格段に増えました。それにより様々な要望に答えられるようになったと思います。

仕事に明け暮れた20代、30代、そして少し余裕のできてきた30代後半から40代になったごろから自分の趣味に時間を使うことがふえてきました。魚釣りに行ったり、冬になるとスキーに行くことが増えてきました。子供が小さい時はいろんなところにも行ったりもしました。

そしてこのコロナ禍のなかでもう一度ゴルフに取り

組んでみようと思いました。ゴルフ自体は高校生の時に実家の近くのゴルフ場でアルバイトをしていた頃にするようになりました。その時はアルバイトをしながら、友達と楽しくゴルフをして遊ぶ感じでした。専門学校で広島に出てきてしばらくしない時期もありましたが、この会社に入ってまたゴルフをするようになりました。当時はゴルフ代もなかなか高額だったのですが年に数回ゴルフ場でプレーをしていました。会社の同僚や、関係するほかの会社の人にとってもよくしていただき今の私の糧となっているように思えます。そして今、新たな挑戦として知り合いの人に紹介していただき、とあるゴルフ場の会員となり、競技会に挑戦するようになりました。

腕前のほうはまだまだ未熟ですが、自分の努力がスコア、順位となって見るとまた更に楽しくなってきました。

ここ最近はやっと変わったこともするようになりました。作業機が必要だと思い探していたのですが、中々良いのがなくどうしようと考えていたのですが、それならば作ってみようと思いました。元々物を作るのが好きだったので、角材や板を買ってきて、切断、組み立てをして完成。最初の出来栄は今一つでしたが、試行錯誤をしながらいくつか作っていきました。プロが作ったものには遠く及びませんが最近の出来栄はなかなかだと思えます。

2022年の寅年。調べると「始まり」「成長」というキーワードがでてきました。

コロナウイルスが発生して約2年。新しい生活様式にも慣れてきました。世界情勢も厳しい状況ですがいつまでもこのままではいけません。今できることは何か、これから何ができるのか、そして何をすべきか考えていきたいと思えます。

最後になりましたが、2022年が皆様にとってより良い年になりますよう祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

年男新春エッセイ



ニシキプリントで3度目の年男を迎えて

株式会社ニシキプリント

営業部 課長 清水 修平
(昭和49年生)

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

昨年は、2020年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大による度重なる緊急事態宣言発令で、様々な業種に影響を及ぼす1年になりました。昨年末からようやく収束の兆しが見えてきましたが、新たな問題として原油価格の高騰が懸念されます。年始から多方面にわたる物価への影響、そして我々印刷業界でも資材の値上げが見込まれています。コロナ禍以前からペーパーレス・印刷離れの傾向がありましたが、新型コロナウイルスの影響でその傾向が急速に進んでいるように感じます。値上げに伴いさらにペーパーレス化が進み印刷業界は厳しい状況が続くと思われませんが、私も営業職として、印刷物以外でも受注を増やしていけるよう日々葛藤しているところです。

そんな私がニシキプリントに入社したのは、今から27年前の平成7年4月でした。当時は就職難で、家から近かったこともあり就職活動1社目で内定を頂いたニシキプリントに入社しました。本を読むことはあまり好きではなく文章を書くことも苦手で、印刷の事は全く分かりませんでした。それでも諸先輩方の指導のおかげもあり、27年間ニシキプリント一筋で頑張ることができました。

入社後に配属された製版課はまだアナログ時代で、ひたすら版下を撮影してフィルムを修正し集版作業、そしてアルミ版焼き付けという、今では考えられない作業の毎日でした。そんなアナログ製版も急速にデジタル化が進み、印刷オペレーター不足もあって8年目ぐらいから印刷の手伝いを始め、その後印刷オペレーターになりました。当時の印刷はまだ3K(きつい、汚

い、危険)という時代で残業も多く大変ではありましたが、もともと機械を触ることが好きで機械トラブルの原因を考えたり修理したりするのは楽しく、やりがいのある日々でした。印刷した紙が製本されて製品になり、それを綺麗に印刷されていると褒められた時は嬉しかったものでした。

印刷課に異動して8年ぐらいたったころから、製本オペレーター不足もあって印刷と製本を兼務し、その後A型事業所の「あゆみ」の立ち上げと同時に生産管理課になり、外注・資材発注や工程管理に携わりました。4年ほど生産管理業務を担当した後、現場から離れて営業課に配属になり、現在に至ります。

営業職は日々いろいろなお客様とお会いするので、コミュニケーション力と、印刷はもちろん発送作業などの印刷物以外でも幅広い知識が必要で、毎日が勉強です。そんな27年でしたが、その間結婚して3人の子供に恵まれ、あっという間に過ぎた幸せな27年間だったと思っています。

最後になりましたが、今年の干支は「壬寅(みずのえとら)」です。十干が「壬」、十二支が「寅」で、「壬」は「妊に通じ、陽気を下に(はら), 妊む」、「寅」は「ミミズ、蟻」に通じ、春の草木が生ずる」という意味だそうです。すなわち「壬寅」は、厳しい冬を越えて芽吹き始め、新しい成長の礎となることを表しています。私もコロナに負けず、目標達成という結果を出す年にしたいと思っています。日々周りに迷惑をかけてばかりの私ではありますが、これからもニシキプリントの戦力として活躍しニシキプリントで4度目、5度目の年男を迎えられるよう努力を重ねてまいります。

あらゆる製本機材の御用命は
有限会社 楠川研磨所

勝田製断裁機
丸山製針金綴機
此花マーブル貼機
福田刃物断裁包丁

広島市南区宇品東2-8-27
TEL (082) 251-6761
FAX (082) 251-7575

リョービMHI
グラフィックテクノロジー株式会社

お客様と共に。

A3縦型から四六全サイズまで充実したオフセット枚葉印刷機のラインアップ。
納期短縮や生産性向上、高付加価値化や環境対応など、
お客様と共に問題解決に取り組み、
お客様に最適なソリューションを提案していきます。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
西日本支社 広島営業所 〒736-0082 広島県広島市安芸区船越南3-7-29
TEL 082-823-0068 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

【役員会レポート】

第3回拡大理事会開催

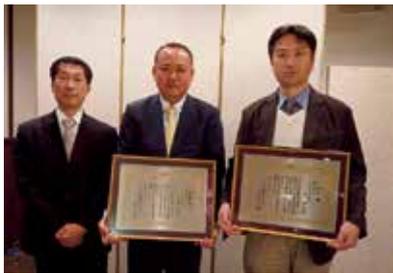
12月7日(火)午後3時から、久しぶりに広島印刷会館を出て広島ガーデンパレスにおいて第3回拡大理事会が行われた。出席者は20名、その後に行われた忘年会は18名、それぞれソーシャルディスタンスで開催された。

始めに中本理事長が、「中々みんなが集まるということができない状況でしたが、こうやって今日は久しぶりに拡大理事会が開かれることになり嬉しく思っております。さて、10月8日に予定しておりました「日本印刷文化典長野大会」が中止になりました。昨年から1年延期をするということでしたが県の方から県境をまたぐ会議は中止してくれとの要望等により残念ながら取りやめとなりました。我々も実行委員会を立ち上げ参考にしようということでしたが残念でなりません。2023年の10月12・13・14日には広島大会です。改めて皆様のご協力なしでは成功できませんので

ろしくお願いします。今日は先月の全印工連の理事会の報告等々をお話しさせていただきます。また、4名の方の組合功労者顕彰の表彰もあります。最後に、会議終了後に昨年は中止でしたが忘年会も開催しますので最後までよろしくお願いします」と挨拶があり会議に入った。

議題

1. DXの進捗ならびに今後の推進について
2. 新年互礼会の開催について
3. 2023全国大会始動について
4. 組合員の異動等
5. その他
 - ・プリントネクスト開催のお知らせ
 - ・組合功労者顕彰の表彰
市川哲也、田頭正芳、丸林智行、高山順子氏の以上4名



田頭 正芳 氏 丸林 智行 氏



高山 順子 氏



市川 哲也 氏



【大事なお知らせ】

広島県工組から組合員の皆さまへ「中小印刷業モデル就業規則2021」の冊子送付について

この度、全印工連が作成した「中小印刷業モデル就業規則2021」は各会社にとって労務管理上必要不可欠なものです。県工組としましてこれを全組合員の皆さまに購入配賦することとしましたので送付いたしました。ぜひ、ご活用いただきますようよろしくお願いいたします。

【研修会】

令和3年度 技能検定プリプレス職種(DTP作業)実技試験・学科試験の事前研修開催

今年も例年同様、上記研修を12月10日(金)の10時から12時まで実技の研修を行った。講師は宮本孝行氏(楸中本本店)。

研修の前に宇都宮教育委員長から「この研修は国家試験です。毎年行っていますので皆さんの周りの人にも勧めてください」とあいさつがあった。

午後1時から5時までは学科の研修を、講師は全印工連の有賀誠氏で行った。受講者は7名。

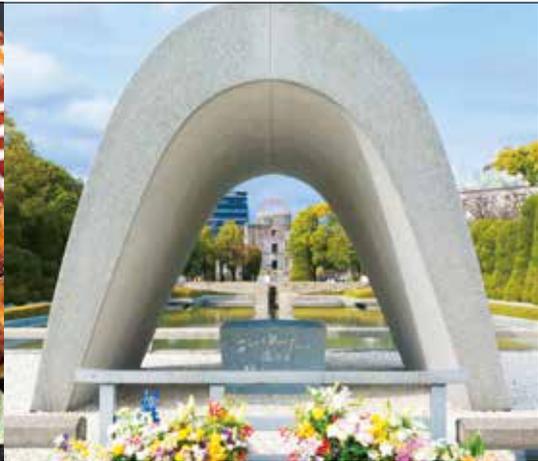
来年度も行う予定なのでチャレンジしてみようと思われる方、ぜひ受講・受験をお願いします。



宮本講師



有賀講師



2023年
10月13日[金]→14日[土]

夢メッセ 10月12日[木]
・13日[金] 午前中

会場 リーガロイヤルホテル広島

[主催] 全日本印刷工業組合連合会・中国地区印刷協議会・広島県印刷工業組合
[お問い合わせ] 広島県印刷工業組合 事務局:〒733-0035 広島市西区南観音1丁目1-22
Tel. (082) 293-0906 Fax. (082) 293-0954



2023
全日本印刷文化典
広島大会



みんなの広島!

皆様を支えられて
74年
MIKI TRADING Co., Ltd.

お客様のニーズに適確にお応えします

総合商社

紙の三木

三木商事株式会社

〒739-0605 広島県大竹市立戸4丁目1-15
電話 (0827) 53-0005 FAX (0827) 53-0006

コミュニケーションは紙からはじまる

【福山支部だより】

価値組・第33回バリューズカップゴルフコンペ

雨の予報だったのが開催が近づくにつれ「晴れ」になっていき、当日はスカッとした秋晴れの日曜日で絶好のゴルフ日和。いったい誰の日ごろの行いが良かったんでしょう。(きっと私です笑)

11月7日(日)、福山支部価値組委員会の親睦ゴルフコンペ、第33回バリューズカップゴルフコンペを新市クラシックゴルフクラブにて開催しました。5組20名の方がご参加くださいました。備後エリアだけにとどまらず、中本理事長を始め、広島からも大勢の方にご参加をいただき、いろいろな交流も含め、とても意義のあるゴルフコンペになりました。

皆さんベストスコア…とまではいかなくとも好スコ

ア続出！和気あいあい楽しくプレイしていただけて何よりでした。次回は来春4月の予定です。皆さんお楽しみに！
(林) (占部)



事務局だより

◎組合のうごき

12月	7日	拡大理事会	広島ガーデンパレス
		産業戦略デザイン室会議	東京
	10日	DTP技能検定事前研修	印刷会館
	13日	CSR推進委員会	東京
		中国地区理事長会	広島

1月	5日	県工組新年互礼会	リーガロイヤルホテル広島
	19日	DTP技能検定 実技試験	広島コンピュータ専門学校
	27日	経営革新マーケティング委員会	東京

TOYOINKGROUP

**新たな時代に貢献する
生活文化創造企業**

私たち東洋インキグループの製品は、人々の豊かで健やかな暮らし、円滑な情報コミュニケーション、そして環境と調和した持続可能な社会を支えてきました。

私たち東洋インキグループは、これからも新たな時代の生活と文化に貢献する製品を創りつづけてまいります。

東洋インキ中四国株式会社

〒730-0015 広島市中区橋本町10-6 広島NSビル11階
Tel:082-511-3411 Fax:082-511-1601
www.toyoinkgroup.com



新たな
未来へ駆ける。
Value from Innovation

お客様一社一社が、企業価値を高め、
成長を続けていくために。
FFGSは、皆さまと一体となって
変革に挑み、明るい未来を
切り拓いていきます。

 2022 謹賀新年



富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社 中国支店 〒732-0827 広島県広島市南区稲荷町5-18 三共稲荷町ビル 082(568)4416

SCREEN

謹賀新年

全力デジタル推進宣言！
この一台が、世界の常識をつくる。



輪転式高速フルカラーインクジェット印刷機

Truepress Jet520 HD

オフセットコート紙にも直接印刷が可能。

株式会社 SCREEN GP ジャパン

中国営業所/082(264)6451

本社/03(5621)8266(代)

〒732-0824 広島県広島市南区の場町一丁目2-21 広島第一生命OSビル

〒135-0044 東京都江東区越中島一丁目1-1 ヤマトネ深川1号館

[詳しくはこちら▶](#)

